



## 保護者からの誕生日メッセージ

養護教諭 山田 真由実

皆様にとって、誕生日とはどんな日でしょうか。年に一度の特別な日。ケーキを食べたりプレゼントをもらったりする日。誕生日会で主役になれる日。生まれた日。一つ歳を重ねる日。など、様々なイメージや思いをもたれていると思います。

私は、子供たちの誕生日が、自分の誕生日をたくさんお祝いしてもらえる日であってほしいと願うとともに、誕生日を、子供たちが命の尊さや家族への感謝を感じる日にしてほしいと願っています。

そこで、本校では昨年度から、保護者の皆様に、子供たちに向けた誕生日メッセージをお願いし、保健だよりに掲載しています。昨年度は、「あなたが生まれたときの家族の気持ち」というテーマで、「生まれてきてくれてありがとう」「大きく育ててくれてありがとう」などのメッセージをいただきました。子供たちは、自分が生まれた時に家族はとても嬉しかったのだと、自分や友達が家族に愛されていることを知り、自他を大切にすることを育む取組となりました。メッセージをもらった子供たちは、「ごはんをつくってくれてありがとう」「産んでくれてありがとう」「ママが生まれてこなければ私も生まれていなかった。ママも生まれてきてくれてありがとう」など、保護者にたくさんの「ありがとう」を伝えることができました。今年度のテーマは、「あなたの良さや強み」としました。自分の良さを知って自分のことを好きになったり、今まで気づかなかった友達の良さを知ったりして、自他を理解し尊重する心を育みたいと考えています。

生きていく中で、私たちは、楽しいことや嬉しいことだけでなく、つらいことや悲しいことなども経験します。時には、悩み思いつめてしまうこともあるかもしれません。厚生労働省が公表した令和4年の小中高生の自殺者は514人で、内訳は、小学生17人、中学生143人、高校生354人です。統計史上過去最多で、その原因は、学業や進路に関する悩み、病気の悩み、人間関係など、様々な理由が挙げられます。つらいことや思い悩むことがあっても、子供たちが、自分は家族に愛されているかけがえのない存在である、自分の良さを認めてくれる人がいることを思い出し、自身を大切にしてほしいと願っています。また、悩んでいる人がいる時には、その人が大切な存在であることを伝え、悩みを聞き、寄り添うことができる人になってほしいと願っています。

保護者の皆様には、今後とも、子供たちに対する愛情やその子の良さを言葉にして伝えてくださいますようお願いいたします。また、地域の皆様にも、引き続き、子供たちへの温かい声掛けや見守りをお願いいたします。

## 12月行事予定

- |      |                   |      |                  |
|------|-------------------|------|------------------|
| 1 金  | 全校集会 クラブ⑦（スポーツ教室） | 15 金 | 野田生カーニバル         |
| 4 月  | 移動美術書道展（～8日）      | 20 水 | 5時間授業            |
| 8 金  | 参観日 個人懇談 試食会食育授業  | 22 金 | 午前授業（給食なし） 大掃除   |
| 11 月 | 入れ替え授業③～15日       | 23 土 | 冬季休業開始 PTAクリスマス会 |
| 13 水 | 移動図書              | 29 金 | 学校閉庁日（～1/3）      |
| 14 木 | 児童会⑨              |      |                  |

## たくさん覚えよう！（1・2年生）

1年生は、国語で日付の学習をしました。日付は、一日（ついたち）、二日（ふつか）、三日（みっか）等、特別な読み方をします。葵子さんは、日付の読み方を書いて音読する学習を2、3回繰り返して、スムーズに読み書きできるようになりました。4回目には、何も見ずに正しく読むことができるようになり、とても嬉しそうでした。これから毎日、その日の日付の読み方を確認し、学んだことがきちんと定着するよう、継続して取り組みます。

2年生は、算数でかけ算の学習をしています。授業では、かけ算の九九を暗記するだけでなく、かけ算の式が表している意味をおはじきで確認したり、「5の段は、かける数が1増えると答えが5ずつ増える」等のきまりに気付かせたりしながら学習しています。子供たちには、 $3 \times 1 = 3$ （三ーが三）など、「が」がつく九九と「が」がつかない九九の言い分けが難しいようですが、繰り返し練習して少しずつ覚えていきます。5の段を覚えた時には、「やった～！5の段覚えた！次は2の段だ！」と、前向きに取り組む様子が見られました。また、九九を覚えたかどうか校長先生にも確認してもらい、「よく覚えたね！」とお褒めの言葉をもらって喜ぶ姿が見られました。ぜひご家庭でも、「〇の段言ってみて」と問いかけてあげてください。また、九九を練習している時に励ましていただくとモチベーションの維持にもなります。

## 学習発表会（5・6年生）

11月3日（金）に行われた開校150周年記念式典を兼ねた学習発表会は、普段の学習発表会よりも格段に大勢の前での発表となりました。担任は、「子供たちは、さぞ緊張することだろう…」とドキドキしていましたが、その思いとは裏腹に、子供たちは、練習よりも生き生きとした姿を見せてくれました。これまで練習で励ましてくださったご家族の皆様、当日足を運んでくださった皆様の気持ちが、大成功に導いてくださったのだと大変感謝しています。

児童会長のあいさつにもありましたが、発表の内容は、子供たちの調べ学習がもとになっています。山越小学校の歴史を調べる中で、「最初は十分な教科書がなかった」「小学校がなくなりかけたことがあった」など、山越小学校がずっと平穩にあり続けていたわけではなく、山あり谷ありで現在に至っているということを知り、「これからも残ってほしい」「もっと山越について知りたい」と考える姿が見られました。これから地域を思う気持ちを大切にしていってほしいと思います。



## 図工「くぎうちトントン」（特別支援学級）

図工では、これまで、切った紙をのり付けする平面的な制作、粘土を使った立体的な制作を行っています。今回、釘と金づちを使って木材を接合する立体的な制作を初めて行いました。

子供たちは、最初、恐る恐る釘を打っていましたが、釘を打つ音が徐々にトントンとリズムカルに聞こえるようになりました。すると今度は、釘が曲がって「先生取って！」という声が…。そんなことを繰り返すうちに、釘がどんどん減っていきました。

今回の制作を通して、子供たちは、安全に気を付けながら金づちを使うこと、釘が曲がらないように打つこと、釘は接合だけでなく飾りにもなるということ学びました。とても楽しい作品づくりになりました。

## ピアサポート交流

17日（金）、小学校3校（山越・野田生・東野）と八雲高校のピアサポーターが、東野小学校に集まり、ピアサポート交流会を行いました。

高校生が進行役となり、「アウチ挨拶」などのエクササイズを行いました。子供たちは、活動を通して、互いを認め温かい言葉かけをすることで、他者と友好な関係を築けることを学びました。



## 町読書感想文表彰式

28日（火）、八雲町図書館で、町読書感想文表彰式が行われました。

小島容雄くんが、感想文部門で「鶴田知也賞」を受賞し、土井教育長から表彰されました。

